



能登上布唯一の織元
(株) 山崎麻織物工房

〒929-1571 石川県羽咋市下曾祢町ヲ 84

(金沢から車で 50 分、最寄り駅 JR 金丸駅)

TEL & FAX : 0767-26-0240 E-MAIL : notojofo@p1.cnh.ne.jp

営業時間 : 9 時 ~ 17 時 定休日 : 日曜日、旧盆、年末年始、創設記念日 (7/7)

※工房見学は無料、機織りは 3300 円 ~ 体験できます。

織元工房謹製の能登上布小物雑貨ブランド

RAMIE EPOCH 金沢店

〒920-0061 石川県金沢市問屋町 1 丁目 1 番地タマイビル 1F 大久産業 (株) 内

(金沢駅から車で 11 分、最寄りバス停 「問屋 1 丁目」)

TEL : 080-8760-5075 E-MAIL : ramieepoch.jofu@gmail.com

定休日 : 日曜日、その他不定休

※営業時間等は web でご確認ください。

能 登 上 布

(株) 山崎麻織物工房



能登^{のとじょうふ}上布とは

石川県指定無形文化財
伝統本麻手織り



神代から伝わる最高級の麻織物

上布とは上等な麻織物のこと。約 2000 年前に崇神天皇の皇女が中能登地方で機織りを教えたことが能登上布の起源だと伝えられています。

江戸時代技術向上を続け発展し、明治時代皇室の献上品に選ばれるまでになりました。ひんやり涼しい風合い、「蟬の羽」のような透け感、シャリ感、光沢感、張り感があり、夏の最高級の着物として愛好されています。昭和初期の最盛期麻織物の県生産量が日本一になりましたが、戦後着物離れが進み、現在山崎麻織物工房が唯一の織元になりました。能登独自の櫛押捺染やロール捺染と呼ばれる職人技術から生まれる繊細で上品な緋模様が特徴で、石川県指定無形文化財となっています。今も昔ながらの手織りで織られ、能登の風土を生かした凛とした緋柄や縞模様、落ち着いた色合いは素朴でモダンな雰囲気が魅力です。



(株) 山崎麻織物工房は1891年（明治24年）紺屋（染め屋）として創業。創業約130年、能登上布 伝統の技を継承する唯一の織元です。戦後織元が年々減少し「減びゆく能登上布」と言われるほど大変厳しい時期もありましたが、先代の三代目織元が語っていた「こんなによいものを残さないのは罪だと思う」という言葉を胸に、代々大切に守ってきた伝統の技を次世代につなぎ、美しい能登上布を残していきたいと願っています。

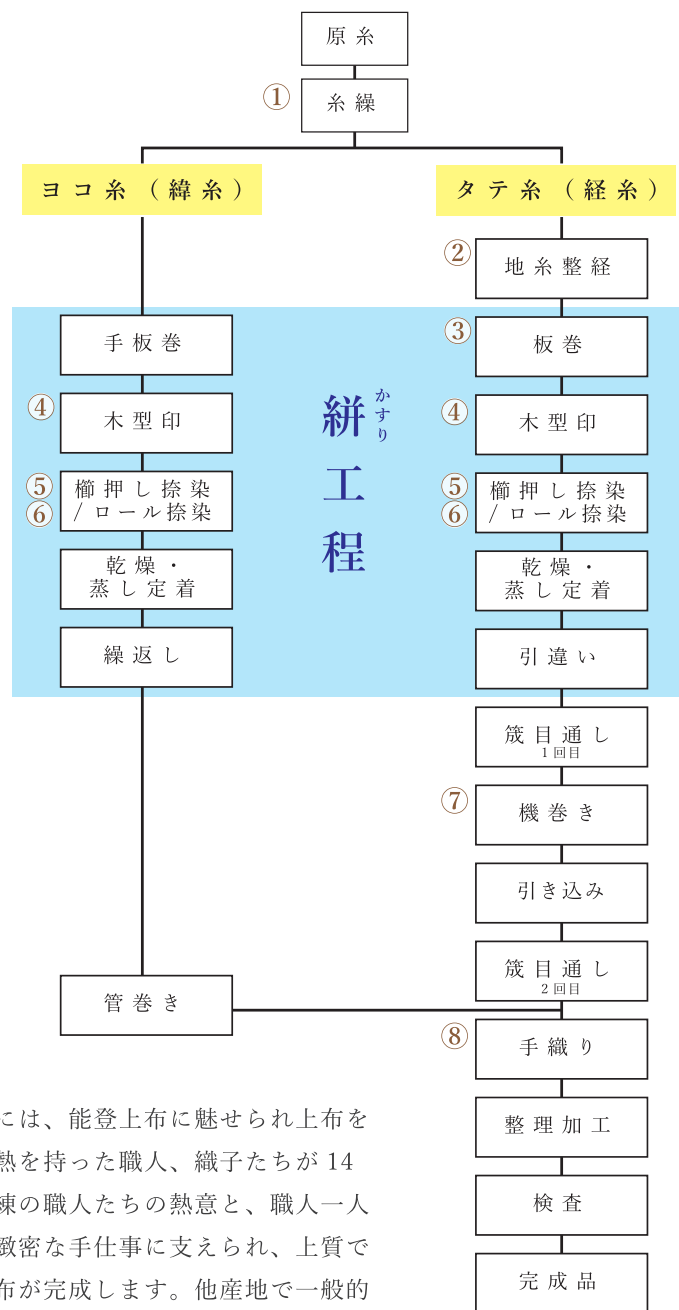
能登上布唯一の織元
株式会社 山崎麻織物工房

浴衣より涼しい爽やかな着心地
能登上布の着物と帯



能登上布の着物は、夏の大人のお出かけ着として、長く愛用して頂けます。6～8月（帯は5～9月）の期間着用でき、一部の柄は茶事の稽古着として着て頂けます。能登上布を代表する緻密な蚊緋柄の着物は女性らしくモダンな着こなしを楽しめます。また丈夫で自宅で手洗い可能なため、気軽に着られるのも魅力です。織元では、貴重な緋柄の着物や帯等もご覧いただけます。お誂えも承ります。

能登上布製作工程



現在弊社工房には、能登上布に魅せられ上布を作りたいと情熱を持った職人、織子たちが14名います。熟練の職人たちの熱意と、職人一人一人の丁寧で緻密な手仕事に支えられ、上質で繊細な能登上布が完成します。他産地で一般的な絹括りと違い、精緻な絹の柄を生み出す能登独自の櫛押し捺染やロール捺染工程が見所です。



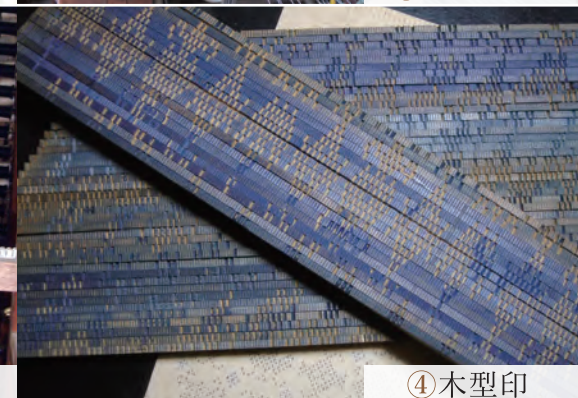
① 糸繰



② 地糸整経



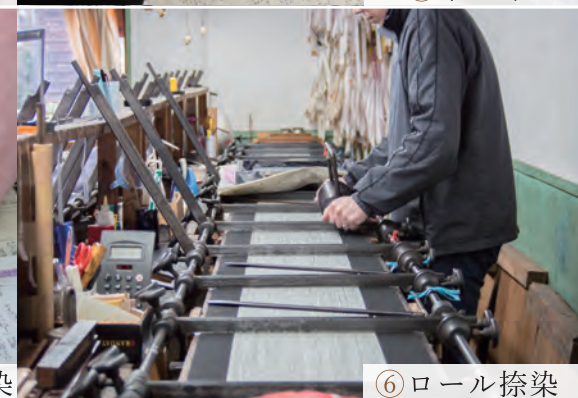
③ 板巻



④ 木型印



⑤ 櫛押し捺染



⑥ ロール捺染



⑦ 機巻き



⑧ 手織り